

県内倍率1.80倍

〇・〇五倍上昇して一位。
・八〇倍だった。「バ
ブル景気前の状況ま
スを職業別にみると、

「エネルギーの地産地消を目指す」と話す岐阜電力の下田平社長



岐阜電力 低価格で顧客獲得狙う

「市民がエネルギーを地元の会社から買うことで、お金が地域内で循環する仕組みをつくりたい」と狙いを語る。

運営が軌道に乗れば、自前の小水力発電施設などを増やし、収益を地域づくりに活用したい考えだ。

六月一日から営業を開始する。昨九月に設立された岐阜電力(岐阜市)は、県内に拠点を置く新電力(瑞穂市)も経営。別会社は、大垣ガス(大垣市)がとして設立した岐阜電力ガス利用者向けに売電を行う。中部電力に託送料(送っている例を除けば、初め電網の使用料)を支払いな

「新電力」参入広がる

家庭向けを含む電力の小売りが昨年四月から全面自由化されたを受け、県内でも、大手電力会社ではない民間資本が、売電事業に参入する動きが広がってきた。これら新規参入の「新電力」は、低価格や地元への利益還元、自然エネルギーの推進などを掲げて、顧客の獲得を狙う。

(木下大資)

「将来的には、県内に太陽光発電所を増やして電気

を買い取り、地域内でエネルギーを賄えるようにするのが夢」と語る。収益の一部を地元の医療、教育などの分野へ、寄付することも計画している。

(木下大資)

岐阜プラ工業 倉敷に新工場

岐阜プラスチック工業(岐阜市)は三十日、岡山市倉敷市に新工場を建設すると発表した。物流資材や、生活雑貨店「無印良品」向けの収納用品などを生産し、西日本への供給を強化する。

設は五倍超、介護関連は四倍超と、人手不足が広がる中にミスマッチも目立つ。労働局の担当者は「ほかの職業にも目を向けてもらえらるよう働き掛けた」と話す。

過去の県内の有効求人倍率は、一九八八年五月に一・八〇倍を記録した後、さらに上昇。九一年ごろまで二倍台で推移し、バブル崩壊後の不況で下降していった。

(木下大資)

高山の船坂酒造



船坂酒造店で人気のつづ塩マッサー。高山市上三之町の船坂酒造店

高山市の老舗酒蔵が、女性や外国人観光客の日本酒を使ったスキンケアグッズを販売し、同市上三之町の古い



趣味の米作りが高じて、今では行きつけのなますや羽島分店(羽島市舟橋町宮北二)にも米を卸している。「好きなウナギと自分の作った米をここで食べられるのは良いもんやね」

中島 均社長(63) × うな井

趣味の米にも妥

「常に満足はするけど、妥協はしない」と本業のバラ栽培に全力を注ぎ、米作りも手を抜かない。「バラも米も、植物は手を掛けたら掛けた分だけ手応えをくれる」

バラ栽培に使ったキトサンを米作りにも使う。「キトサンは甲殻類からとれる天然成分。根張りも良くなるし、食味も良

ズなかしま(輪之内町)



し、過去最高の売り上
人材確保のための人件
費を更新した。運輸の
費増を挙げた。

製造業

非製造業

【注